

# 日本鐵鋼協會記事

## 第29回通常總會及表彰式記事 (昭和19年4月2日・日曜日)

本年は4月1日から日本工學會の第5回大會が開催せられるので例により4月2日から其の部會として本會の第31回講演大會と第29回通常總會及表彰式を執行のこととなり、準備萬端整つたときに生憎丁度時局狀勢が、たゞならぬ有様となり、集會及旅行は遠慮すべき事情となり講演會は一時無期延期のこととなり、協會では4月2日の日曜日に東京帝大法文經濟學部第20號室で通常總會と表彰式のみを実施することとなった。

I. 總會 定刻午前11時20分總員官城を遙拜し國民儀禮の後、松下會長開會の辭を述べ議事に入る。

- (1) 昭和18年度會務報告。(2) 昭和18年度收支決算報告。(3) 昭和19年度收支豫算報告。(4) 任期満了役員(理事7名)評議員50名改選(投票開票)。(5) 定款改正(第14條,理事2名増員の件,第35條 會費を正會員一ヶ年12圓,准會員10圓とする件)。(6) 定款第14條改正の結果増員すべき理事2名選挙の方法の件(本件は會長に一任すべしとの議出で異議なく決定)。以上何れも賛成可決せらる。正午閉會。

新任役員氏名次の如し。(敬稱略,順位五十番順)

- 理事 吉川晴十(會長) 田村宣武(副會長) 足立逸次(會計)
- 石田稔(研究調査) 石田四郎(講演) 甲藤新(庶務) 金谷三松(兼主事) 佐々川清(研究調査) 田中清治(編輯)
- 常務委員 網谷俊平(會計) 池田正二(研究調査) 石原善雄(講演) 志村繁隆(研究調査) 鹽澤正一(庶務) 依信次(編輯) 吉城肇蔚(講演)
- 改選評議員 50名(原案通り)

## II. 表彰式 (自正午至午後0時20分)

本年度の名譽ある服部賞牌,渡邊賞牌(香村賞牌は該當者なし)受領者及び服部,香村(第9條適用),俵,渡邊各賞金受領者次の如し。

(服部賞牌受領者)

日本製鐵株式會社〇〇製鐵所第二鋼材部長參事 伊藤正夫君

(服部賞金受領者)

### 1. 集會

通常總會	臨時總會	理事會	評議員會	編輯幹事會	編輯委員會	服部博士記念資金委員會	野田文庫委員會	日鋼資金委員會	故今泉博士記念資金委員會	講演大會(春東京秋大阪)	月例講演會	豫算決算委員會
1	0	11	3	1	11	1	2	1	1	2	9	1
研 究 會												
鹽基性平爐幹事會		委員總會		日本學術振興會 日本金屬學會 日本機械學會 日本鐵鋼協會		聯合 繰返應力座談會		燃料經濟部會 平爐及蓄熱室熱勘定		備 考		
4		3		1				1				

### 2. 會員異動

	名譽會員	維持會員		贊助會員	正會員	准會員	計
		員數	口數				
入會者	- 0	+ 18	+(30)	0	+ 399	+ 754	1,171

〇〇陸軍造兵廠研究所陸軍技手 龜海元作君,日本特殊鋼株式會社技師 出口喜勇爾君,株式會社昭和製鋼所銑鐵部副參事 林源吉君,住友金屬工業株式會社〇〇〇製鐵所検査部研究課長代理 三井三郎君,日本鋼管株式會社參事正八位 森山達郎君,日本製鐵株式會社〇〇製鐵所ロール課鑄造課長技師 山崎信三君

(香村賞金受領者) 第9條適用者

株式會社日本製鋼所〇〇製作所第二現業部長 鈴木為次郎君, 〇〇〇海軍工廠海軍技術中佐正六位勳五等 西武雄君,大同製鋼株式會社取締役朝鮮製鐵株式會社常務取締役工學博士 林達夫君,日本製鐵株式會社〇〇製鐵所第二鋼材部第五壓延課技師 牧田利徳君,日本製鐵株式會社〇〇製鐵所工作局鑄造課長參事 松倉眞一君

(俵賞金受領者)

技術上優秀論文(廣幅鋼帶連續式壓延機の据付に就て)日本製鐵株式會社××製鐵所 嶺次男君,學術上優秀論文(高温高壓用鋼管材の旬旬に關する研究)住友金屬工業株式會社鋼管製造所研究部研究課長 小島義正君

(渡邊賞牌受領者)

日本特殊鋼株式會社取締役工務部長 石原善雄君

(渡邊賞金受領者)

日本特殊鋼株式會社製鋼部壓延課長 青木尚君,住友金屬工業株式會社鋼管製造所研究部試驗課長臨時代理兼鐵鋼研究所員 大倉幸雄君,株式會社日本製鋼所〇〇製作所技術研究所技師 木村熊太郎君,株式會社日立製作所〇〇工場特鋼部副部長 小塚壽吉君

以上の諸君に對し會長より夫々の賞狀並に賞品を贈呈し午後0時20分當日の行事全部を滞りなく終り,會場にて主客膝を交へて戰時氣分横溢せる簡廉なる晝辨當に舌鼓を打ち快談數刻,極めて和やかな裡に散會した。

## III. 會務報告摘要 (自昭和18年3月1日至昭和19年2月29日)

文 獻

1) A. Bousse: Die Fabrikation nahtloser Stahlbohrer. (Hannover 1908.)  
 2) W. C. Chancellor: American Practice in the Manufacture of Seamless Steel Tubing; Iron Coal Trades Rev. (1924) S. 510.\*  
 3) C. F. Davies: The Rotary Piercing Machine for Steel and Copper Billets; Engg. (1921) S. 527.  
 4) Diegel: Röhrenfabrikation. (Berlin.)  
 5) J. Gassen: Über die Lochbildung beim Schrägwalzverfahren: St. u. E. 41 (1921) S. 1767/71.  
 6) K. Gruber: Über die Herstellung nahtloser Rohre unter besonderer Berücksichtigung des Mannesmannschen Schrägwalzverfahrens; Dr.-Ing.-Dissertation,

Breslau 1917.  
 7) H. Leohner: Über das Mannesmannsche Röhrenwalzverfahren. (Hamburg 1897.)  
 8) I. A. Richards: Manufacture of Solid-Drawn Steel Tubes; Iron and Coal Trades Rev. (1922) S. 880.  
 9) I. Torka: Theorie des Mannesmannschen Röhrenwalzwerkes; Z. V. d. I. 32 (1888) S. 842.  
 10) F. Reuleaux: Über das Mannesmannsche Röhrenwalzverfahren; Z. V. d. I. 34 (1890) S. 621.  
 11) C. Wolff: Die Verwendung von siliziertem und un-siliziertem Stahl zur Herstellung von nahtlosen Röhren nach dem Schrägwalz- und Pilgerschritt-verfahren; Bér. Stahlw.-Aussch. V. d. Eisenh. Nr. 100 (1925); St. u. E. 45 (1925) S. 1958/61.

第 132 頁より續く

轉 格 者	—	+ 2	+(25)	0	+ 52	- 54	0
退 會 者	—			0	- 25	- 52	- 77
死 亡 者	- 1			0	- 16	- 24	- 41
昭和19年2月末現在	16	79	(213)	23	3093	3980	7,191
前年 同期 對 増 減	- 1	+20	+(65)	0	+ 410	+ 624	+1,053

3. 會誌發行及印刷物

- (イ) 本會々誌「鐵と鋼」自第29年3號至第29年12號(第30年1-2號は其の筋より用紙未配給の爲發行遅延)  
 (ロ) 研究報告(關係者に配附し餘分のものは一般會員へ實費配附)  
 ○電氣製鋼研究會報告(V) ○平爐熱勘定研究會報告(V,

VI) ○溶鐵爐熱勘定研究會報告(III) ○溶鐵爐熱勘定研究會報告(IV)

- (ハ) 講演大會講演大要 春秋2回  
 (ニ) 會員名簿 1回  
 4. 月例講演會 實施回数9回 聽講者延員數919名  
 5. 研究調査事項

研究部會同次	部 門 別	題 名	開催年月日	開催地
第28回研究部會	第6回燃料經濟部會	平爐及蓄熱室熱勘定研究會	自昭和18-5-24 至昭和18-5-29	鞍山
第29回研究部會	第16回製鋼部會	第1回鹽基性平爐研究會	昭和18-6-5	東京
第30回研究部會	第17回製鋼部會	第2回鹽基性平爐研究會	昭和18-11-6	東京
第31回研究部會	第18回製鋼部會	第3回鹽基性平爐研究會	昭和19-1-31	東京
日本鐵鋼協會 } 聯合 日本機械學會 }	第4回座談會	第7回自動車用鐵鋼材研究會	昭和19-2-24	東京
日本學術振興會, 日本機械學會 } 聯合座談會 日本金屬學會, 日本鐵鋼協會 }		「金屬の繰返し應力に就て」	昭和18-7-24	東京

6. 關 西 支 部 (昭和14年2月23日創立)

(1) 集 會

總會	商 議 員 會	例 會	
		(講 演)	(見 學)
第5回 (18-2-26)	第20回(18-2-4) 第21回(18-2-26) 第22回(18-5-11) 第23回(18-6-5) 第24回(18-6-24) 第25回(18-7-10)	第20回 (18-2-26)  第22回 (18-7-10)	第21回 (18-6-5)

(2) 會 員 數

名譽會員	維持會員	贊助會員	正會員	准會員	合 計
1	20	6	654	867	1,548
昭和17年度末合計					1,349

7. 北 海 道 支 部 (昭和18年8月8日創立)

(1) 集 會

總會	評 議 員 會	講 演 會	見 學 會
第1回(18-8-8)	第1回(18-8-8)	第1回(18-8-8)	第1回(18-8-8)

(2) 會 員 數

	維持會員	正會員	准會員	合 計
(創立當時)	1	59	91	151
(18-12-31現在)	1	72	115	188

IV. 會 計 報 告

1. 昭和18年度收入總額	131,874.14
2. 昭和18年度支出總額	124,281.67
3. 收支差引收入超過額(次年度へ繰越)	7,592.47
4. 昭和19年度豫算總額	136,700.00